

月刊 ウィーン

GEKKAN-WIEN

Monatsmagazin Japanisch

現地オリジナル取材と編集で
ウィーンを伝える月刊情報紙

創刊平成元年 創刊31年目 **Nr. 372**

2020年11月号



ウィーン美術史博物館 企画展『ベートーヴェン Beethoven bewegt』より
ヤン・コシエール 「火を運ぶプロメテウス」 プラド美術館（スペイン）所蔵
Jan Cosiers (1600-1671) Prometheus 1636-1638 Öl auf Leinwand 182 x 113 cm
© Photographic Archive: Museo Nacional del Prado, Madrid

杉本純の原子力の話II ウィーンと京都 105

世界の主要二六ヶ国・地域と国際機関が集まるG20エネルギー大臣会合が九月二七、二八日、サウジアラビア主催によりテレビ会議で開催された。我が国からは、梶山弘志経済産業大臣、鷲尾英一郎外務副大臣（写真、外務省ホームページより引用）らが出席。今回の会合では、

(1) 循環炭素経済、(2) エネルギー・アクセス、(3) エネルギー安全保障・市場安定化を中心に議論し、十一月二二、二三日開催予定のG20サミット（首脳会議）への提出に向け閣僚声明を採択した。



<https://www.jaif.or.jp/journal/japan/4773.html>

「割を果たす」とした上で、廃炉や放射性廃棄物の最終処分課題にも取り組む重要性を確認。二〇一九年に日本が議長国を務めたG20エネルギー大臣会合（軽井沢）では、高レベル放射性廃棄物の最終処分実現に向け、原子力主要国政府が参加する「国際ラウンドテーブル」の立ち上げを合意し、二回の会合開催を踏まえ二〇二〇年八月に報告書を取りまとめている。

循環炭素経済について、梶山経済産業相は、我が国が策定した「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」に盛り込まれた「環境と経済の好循環」に通じるものと評価。あらゆるエネルギー源や技術の活用を支持し、各国のイノベーション・リーダーらが集結するICEEF2020を始めとした国際会議の集中開催「東京・ビヨンド・ゼロ・ウィーク」（二〇月七〜一四日）を紹介した。

一方、京都市に本社を置くオムロンは立石一真氏が一九三〇年に下京区で彩光社を設立後、三三年に大阪市に立石電機製作所を創業し、レントゲン写真撮影用タイマーの製造を開始したのが始まり。社名は本社のあった右京区御室（おむろ）に由来する。六〇年に無接点近接スイッチ、六七年に無人駅システム、七一年にオンライン現金自動支払機などいづれも世界初の技術を開発し、現在では、自動化のトップ企業として、工場の自動化を中心とした制御機器、電子部品、駅の自動改札機などの社会システム、ヘルスケアなど多岐にわたる事業を展開し、約一二〇ヶ国と地域で商品・サービスを提供。従業員は約二万八千人、売り上げは約六千八百億円。創業者の「まずやってみる」という企業文化が現在も生きています。二〇二二年より始まった京都マラソンを特別協賛している。両社とも国際的にも幅広く事業展開しているのが似ている。

鷲尾外務副大臣は二七日に行ったスピーチの中で、医療施設の運営や医薬品の保管に際してもエネルギーの安定供給が欠かせないことから、「新型コロナウイルス感染症拡大が、エネルギー・アクセスの重要性を改めて強く想起させた」と強調。一方で、「世界では今も約八億人が電力に十分アクセスできていない」として、日本が主導するTICAD（アフリカ開発会議）などの枠組を通じ開発途上国への支援を図っていく考えを述べた。

さて、今月のウィーンと京都の対比では、両市の特徴ある企業（その三）について述べる。ウィーンに本拠を置くOMVは、石油やガスの精製、また石油化学工業等を行うエネルギー企業である。一九五六年に国営企業として設立され、一九八七年に民営化した。主な事業展開地は中東欧であるが、原油や天然ガスは、中東、アフリカ、北海ロシア、アジア・太平洋地域を中心に輸入している。ドイツ、オーストリア、ルーマニアの工場で欧州最大規模の石油を精製し、欧州十ヶ国に二千ヶ所以上のガソリンスタンドを展開している。従業員は約二万人、売り上げは約二八兆円。将来の低炭素社会に向けて、製品群を転換し、二〇五〇年までに炭素正味ゼロを目指している。そのため、石油よりガスの割合を増加させ、石油製品から高価値・炭素低放出製品にシフトし、さらに革新エネルギー関連に投資することとしている。

余談であるが、筆者はウィーン駐在時に自宅で使用するガスも車のガソリンも勿論OMVのお世話になった。二三十年近く毎朝使っている家庭用血圧計はオムロン製である。両市の特徴ある企業にまつわる話を紹介できた幸運に感謝しつつ、OMVのガソリンを使った車で約一時間で訪れた隣国スロバキア的首都ブラチスラバにある聖マルティン大聖堂のスケッチを掲載させていただく。



杉本純 元京都大学教授 元原子力機構ウィーン事務所長

杉本純の原子力の話II 「ウィーンと京都」の第1回からの全記事が次のサイトに掲載されています：<http://wattandedison.com/Sugimoto.html>

オーストリアの新型コロナウイルス感染状況 2020年10月31日 14:00 現在

オーストリアでの検査数 223万 2735、感染確認 10万 6584、病状者 4万 7819、陽性で入院せず自宅療養 4万 5952、回復 5万 7668。10月30日8時現在ウィーンでの検査数 62万 2446、陽性確認 3万 650、回復 2万 1790。使用可能な普通病床 8678 / 使用 1602 (ウィーン 301)、使用可能な集中治療 655 / 使用 265 (ウィーン 87)、感染によると確認された死亡 1097 : 住民 10万人につき 12.4 (ウィーン 354 : 住民 10万人につき 18.7)。

© Bundesministerium für Soziales, Gesundheit, Pflege und Konsumentenschutz

